

# 視聴覚教育

NO.312

発行日

16.5.18

発行

岡崎市AVL

編集

現職研修委員会

学習情報部

## 視聴覚用語

「OCR」

光学的に文字を認識する装置やソフトのこと。これを使えば、スキヤナなどを使って画像として読み取った文字をソフトで解析して、テキストの文字データに変換することができる。

## 新しい大きな一歩を

学習情報部部长 石原雅充

新しい年度が始まり、一カ月半が過ぎようとしています。各学校、園、社会教育団体においては、それぞれの目標を掲げ、その達成に向けて着実に歩みを進めてみえることと思います。

最近の情報通信技術の急速な発展には本当に目覚ましいものがあります。インターネットのブロードバンド化、地上デジタルテレビ放送の開始など多様な情報機器の普及と、ネットワーク接続によって、社会のあらゆる分野に影響が及んでいます。その一方、ITを利用した犯罪が急増していることも心配されます。

今年度は特に、国の策定したミレニアムプロジェクト「教育の情報化」の目標年度です。教育の情報化を通じて、「子どもたちが変わる」、「授業が変わる」、「学校が変わる」を合言葉に、全国の学校のすべての教室にコンピュータを整備し、インターネットにアクセスできる環境の実現を目指しています。

岡崎市においてもこうした環境整備が着実に進められています。今年度も新たに5校の校内LAN整備に取り組み、市内18校が研究推進校

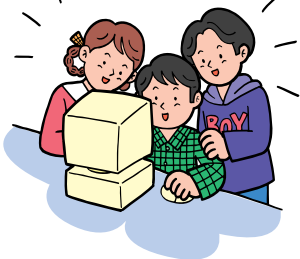
として実践を積み重ねていくこととなります。また、昨年度から進めてきた教育研究所のサーバー設備の更新に引き続き、「岡崎教育ネットワーク」のグループウェアの更新が、額田町との合併を機に図られています。

環境整備の進展に伴い、運用のためのデータの蓄積も求められています。すでに岡崎市では、10万点以上のデジタルコンテンツが登録されていますが、今年度もさらに増え、信頼できる教材を使って授業での活用がさらに図られることでしょう。

昨年度は、多くの方にご協力いただき「視聴覚ライブラリー50周年」という大きな区切りをつけることができました。

合併にあわせて、岡崎市視聴覚ライブラリーと額田視聴覚ライブラリーの統合準備も進められていきます。

また、次の節目をめざし新たな一歩を踏み出せるよう、岡崎の視聴覚・情報教育のますますの発展と成果を期待しております。



## 「視聴覚教育あれこれ」

平成十七年度

## 学習情報部方針決定！

### 研究主題

高度情報通信社会に対応する学校での新しい視聴覚・情報教育のあり方を追究しよう

### 研究の重点

学習メディア・パソコンの効果的な

活用法の研究

校内ネットワークの環境整備と

活用法の研究

岡崎教育ネットワークの環境整備と

活用法の研究

市自作ビデオの活用の促進と

学校独自の自作視聴覚教材の制作

視聴覚教室やパソコン教室の

総合的な管理・運営方法の工夫

教育チャンネルや校内放送の活用法の研究

### 主任会の活動

〔広報部会〕…授業実践や視聴覚関連の研究の

集積、研究誌や月報の発行、学

〔研修部会〕…各種研修会・講習会の計画・実

施や各種視聴覚教材や教育メデ

〔自作部会〕…自作教材ビデオ・自作マルチメ

ディア教材の制作とその活用事

例研究等。

〔教科部会〕…「視聴覚教材・機器利用の手引

き」の発行、ソフトの利用促進

と活用法の研究等。

「平成十七年度組織」  
「視聴覚ライブラリー」

所長（教育長）

藤井 孝弘

副所長

加藤 稔

職員

宮田 典彦

松田 美智

学習情報部組織

部長

石原 雅充（竜南中長）

高木 和広（奥殿小長）

山田 賛平（藤川小長）

担当指導主事

小川 規博

（教育委員会学校指導課）

指導員

名倉 嘉章（六北中）

杉浦 修（六名小）

世話係

内藤 法雄（北野小）

小田 哲也（竜南中）

各部世話係

〔広報〕

佐渡 英彰（竜海中）

村田 貴志（甲山中）

〔研修〕

箕 哲也（城北中）

川本 祐二（美川中）

〔自作〕

伊藤 研治（葵中）

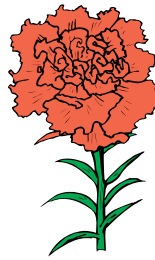
〔教科〕

島田 繁直（六北小）

内田 雅之（井田小）

服部 光晴

太田ますみ



各種大会  
・研究会の案内

「レッツ・トライ」  
《研究会》

・三教研自作教材研究会

8月4日 豊川市文化会館

・愛知県放送教育特別研究会

（東海北陸地方放送教育研究大会）

8月24日 愛知県中小企業センター

・愛知県学校視聴覚教育研究会

研究発表（未定）

・放送教育研究会全国大会

10月28・29日

・視聴覚教育総合全国大会

8月27日

青少年オリンピックセンター

この他、本年度も、多くの大会・研究会が予定されています。

ぜひご参加ください。

《研究論文》

・インターネット活用教育実践コンクール

・松下視聴覚教育研究賞

・松下視聴覚教育研究助成

・東書教育賞

・上情報教育研究助成

県や市の教育論文をはじめ多くの応募機会があります。日頃の実践成果をぜひまとめてみましょう。

《コンクール》

・岡崎市ふるさとメディアコンクール

・NHK杯中学校放送コンテスト愛知県大会

・全国子供科学映像祭 など

児童生徒の作品コンクールも多数あります。

参加をしてみませんか。

ライブラリーだよ

新年度がスタートしました。ライブラリーでは、機器・教材の活用について、社会教育・学校教育関係者のサポートをしています。相談・利用をお願いいたします。

教材などの配達・回収

視聴覚教材、16ミリ映画、ビデオ・レーザーディスク教材の利用を希望する小・中学校・園に配達・回収を行っています。毎週火曜日に配達、翌週の月曜日に回収に伺います。必ず電話で予約の上、お申し込みください。

また、「視聴覚機器・教材目録」、「視聴覚教材・機器利用の手引き」をご覧ください。

ビデオ教材のダビングサービス

ライブラリーでは、制作した自作ビデオ番組やビデオ映像ラッシュ、行事記録等のダビングを行っています。お手持ちのビデオテープの背に「番組名」と「学校名」を記入の上、送付ください。原則として、1番組1本のテープでお願いいたします。（テープの種類は問いません）

「視聴覚教材・機器利用の手引き」第10集

視聴覚機器の利用の仕方や活用の実践事例、市自作ビデオ教材の活用事例と制作の歩みなど、大変参考になります。市内全教職員に配布しました。ご活用ください。

